

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	高速バス実証運行事業		基本計画	章	4	総合戦略	基本目標	4
事業コード				節	3		施策の方向	(3)
課係名	都市計画課交通政策係	内線		項	3		施策	②
担当者氏名		職名		細項目	1		整理番号	

事業概要 総合戦略に基づき、圏央道の利活用による利便性の向上を図るため、高速路線バスの拡充に向けた高速バス実証運行調査業務を行う。

現在の課題や市民要望など 近年、高速バスの需要がある中、木更津市や袖ヶ浦市にバスターミナルが建設されており、交通手段の多様化が求められている。また、圏央道の利活用に対する政策(総合戦略)として実施するものである。

- 事業目的**
- ① 圏央道の利活用
 - ② 高速路線バスの拡充及び乗継による利便性の向上
 - ③ 交流人口の誘致
 - ④ 高速バス需要の把握

- 個別取組**
- ① 新たな高速バス路線の実証運行及び調査
 - ②
 - ③
 - ④

- 事業による改善・変更点**
- ① 高速路線バスの拡充
 - ② 木更津BTとの連結による多方面への交通手段の確保
 - ③ 三井アウトレットへの交通アクセスの向上
 - ④

事業対象 個人・世帯 団体(民間) 団体(公共) 内部管理 その他()

内容 ① 羽田空港方面などへの利用者 ② 木更津市内の大型商業施設(アウトレット等)の利用者
③ 茂原市への来訪者 ④

業務形態 全部委託 一部委託 直営 負担金・交付金 その他()

内容 ① 民間バス事業者への業務委託 ②
③ ④

支出根拠 有 無 法令要綱等名称 ① ②
③ ④

事業継続 単年度 複数年度:無期 後年度負担 有 無
 複数年度:有期始期 ~ 終期] 内容

事業費の積算	30年度	運行路線:茂原駅~長南~木更津BT~アウトレット 【運行費用】1日6便(3往復)×運行日数(土日) ・65,380円×52日=3,399,760円 【広告作成費用】 ・33,000枚×3.9円×1.08=138,996円 【運賃収入】1日(6便×4人×900円)×運行日数(土日) ・21,600円×52日=1,123,200円	事業費	3,538,756	事務スケジュール	年月	内容
	年度		国			H30.1	関係者協議
			市			2	委託業務仕様書協議
	年度		その他	1,123,200		3	委託業務契約準備
			一般財源	2,415,556		4	業務委託契約書の締結
	年度		事業費				広告作成・配布
			国			5	自治会回覧(毎戸)
	年度		市				実証運行開始
			その他			10	実証運行終了
	年度		一般財源	0		11	事業継続検証
事業費							
年度		国					
		市					
年度		その他					
		一般財源	0				

経費節減効果 有 無 節減効果の内容

金額 千円

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称			30年度	年度	年度
■ 活動指標	①	高速路線バスの拡充	6便×52日	312便		
	②					
■ 成果指標	①	1便あたりの利用者数	利用者数/6便/52日	4人以上		
	②	実質事業負担額	運行費用-運賃収入	2,415,556円		

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	当路線は今まで高速バス路線の導入事例がない経路であり、高速バス利用者の潜在需要の把握が難しく、民間バス事業者単独での実施は困難である。総合戦略に位置付けた事業として実施する。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バス需要を調査・検証するために期間を限定し、実証運行として実施する。 ・現在、茂原から木更津金田BTに乗り入れるバス路線はない。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	利用者の増加が見込まれれば費用負担の軽減はでき、将来的には民間事業者単独での運行継続は可能である。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	総合戦略には高速バス利用者の数値目標(平成31年度)を掲げている。また、他の運行経路(成田空港等)についても段階的に検討したい考えであり、早急に高速バス需要を把握・検証する必要がある。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	高速バス運行に希望する行先として、東京方面(新宿、品川等)や木更津方面(三井アウトレット等)への要望がある。当路線は、茂原駅からの発着であり、幅広い地域の方が利用可能である。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
<p>近隣の市町村では大多喜町が高速バス運行に対する助成を実施している。また、千葉県では成田空港と鴨川や銚子地域を結ぶ高速バスの実証運行を実施した。</p>			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	総合戦略で「高速路線バスの拡充による利便性の向上」を図るため「羽田空港方面への利便性の向上と利用者拡大に向けた支援」に取り組むとしており調査の実施は妥当である。但し、現時点では新規事業への充当一般財源額が不明であり、既存事業費の削減額や、他の新規事業との優先順位を勘案し判断する必要がある。また、長南町と費用負担について協議すべきである。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	実証運行の路線について、想定する利用客、駐車場所、運行時刻等の設定に疑義があり、路線の必要性は低いものと考えられるため、調査を実施しないものとする。	
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	総合戦略に基づき高速路線バスの拡充を検討する最初の手がかりとして、提案のとおり実証運行調査を行うこととする。	